

岐阜の宝もの「岐阜県地歌舞伎衣装の魅力発掘・発信」PR



岐阜県では、全国最多となる29の地歌舞伎保存会が活動しています。これらの団体が保有（または使用）する歌舞伎衣装は、多数が江戸期から伝わる大変貴重なものですが、経年による布地の褪色や劣化が見られ、一方で衣裳屋の廃業などによる散逸・棄損も危惧されています。

そうした衣裳を次世代につなぐため、またその魅力を広く世の中に伝えるために、全国的にも珍しい地歌舞伎衣装の展覧会を名古屋市と多治見市にて開催。続いて、県内に残る木造の芝居小屋を会場に、江戸期の人々が生活していた灯りを再現し、その灯りの中でこそ表れる衣装本来の魅力を体感する展覧会を開催。さらには、岐阜地歌舞伎風にアレンジした「桜姫東文章」を、実際にろうそく灯りのみの舞台上で上演。同時に、服飾を学ぶ学生を中心に、現代の感性で製作した歌舞伎衣装を実際に着用し、芝居小屋を舞台に披露するファッションショーを開催。

そうした活動の集大成として、200点あまりの代表的な衣裳の写真とその特徴を記録した図録を制作しました。



衣裳展 PR コマーシャル映像

衣裳図録



WEB サイト



衣裳展より